

今回は、「仕事の誤解」という小冊子からです。

×黙々と仕事をしていれば評価されると思うのは誤解だ！

忙しそうに仕事をしているように見えるのに、そのわりに存在感のない人がいる。

決して時間的にさぼっているわけではない。しかしよく観察すると、目先の仕事を、黙々と、ノロノロと、再三やり直しをしているだけ。会社はその人がいなくても困らない。その人が会社を休んでも、ようやく午後になって「△△さん、今日は休みなの？顔が見えないね？」と、周囲に気づいてもらえる始末だ。驚くほど存在感がないのだ。不思議というか、この姿勢を改めさせるために他の仕事に移しても、この姿勢が直らない。この状況を一皮むくと、いわゆる「マイペースで黙々と仕事をしているだけ」ということが分かる。

※ 優先順位付けで、自らを追い込め

あなたは、自分が思うほど社内での存在感があるだろうか？もし、仕事をしている割に評価が低いと思ったら、「自分はマイペースの度合いが強すぎるのではないか？」と反省して見る必要がある。そして、自分に与えられている仕事を棚卸ししてみる。それに優先順位付けをし、納期を早め早めに設定し、計画を立てて、どんどん仕事に取り掛かる。優先順位の判別がつかなければ、上司に聞けばよい。そうやって、マイペースの姿勢を崩す。それが存在感を高め方法だ。

※ ズルイやり方は見抜かれる

ゴマすり型社員にも、意外にマイペース型が多い

日常はマイペースであまり仕事をしていないのに、社長や上司から依頼される飛び込み仕事にはすぐ取り掛かる人だ。飛び込み仕事に応えること自体は非常に良いことなのだが、問題は、日ごろ自分を追い込むくらいの仕事をした上でそうしているかどうか？ということだ。そうでないとしたら、周囲にメンバーは、日ごろのその人のマイペースな仕事ぶりに辟易し、したたかなズルさに啞然としている。あなたは、周囲を顧みないマイペースの仕事姿勢に、はまりきっていないだろうか？

1) 忙しそうに仕事をしているように見えるのに、そのわりに存在感のない人がいるがどのような仕事ぶりですか？

()

2) 仕事をしている割に評価が低いと思ったら、何を反省すべきですか？

()

3) マイペースの姿勢を崩すにはどうすれば良いですか？

()